

園名：すぎなみのぞみ保育園

活動日時：2024年 12月5日

## 1. 活動テーマ

<テーマ>

5歳児 植物（スイカの片付け）

<テーマ設定理由>

6月6日に給食で出たスイカの種をプランターに植えていた。気温が高いうちは葉っぱも緑だったが、12月に入り寒くなると茶色になった。

## 2. 活動スケジュール

おやつ後の時間に子どもたちとすいかの現在の状況をみにいく。

## 3. 活動の為に準備した素材や道具、環境の設定

スコップ、ごみ袋

## 4. 探究活動の実践

<活動内容>

プランターに植えてあるスイカの状況を見る。  
子どもたちの声をきく。  
見たり触ったりすることでこの後、  
どうするかを話し合い行動する。



プランターの様子をみて、

「かたい」

「折れる」

「このまえは葉っぱ緑だったのに」

「ぱりぱりしてるから枯れてるよ」

「やっぱりね、ダメだったんだよ」

「そうだよ、蒔くときがちがうんだよ。たべるときに（時期）蒔いてもだめだよ」

「育つときに水がいるんだよ」

と子どもたちが思ったことを言葉にして伝えあっていた。子どもたちは枯れたから抜こうと決め、抜いていく。

その時にもかたさや色を感じている。

抜きながら「いままでありがとう」と言っていた。→そうだね、いままでありがとうだねと子どもの気持ちを受けとめる。

抜いた後また何か植えたいという声もあった。

プランターの横にあるからすのえんどうの芽をみて、

「すずめのえんどうって知ってる？」という話題になり、今度はすずめのえんどうを探しにいってみようとなった。



## 5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

子どもたちが給食にスイカが出た時に種を植えてみたいといった。

その興味を大切に、子どもたちと一緒に種を植えてしばらく観察することができた。

芽が出て、花も咲き実がなるかと期待もしたが残念ながらならなかった。

しかし、子どもたちはならなかった原因を話していた。

自分の考え（なぜ枯れてしまったのか、なぜならなかったのか）を人に伝える姿がみられた。

枯れてしまったことも受け入れ、片づけるときに「いままでありがとう」と言っていたことが印象深かった。

自分たちが育てていたも、いままで生きていたものに声をかける姿にこの活動を通して成長を感じた。

子どもから出た声を次の活動につなげていく。